

## 宮崎をどげんかせんといかんイベント大作戦

4月～2月 (50時間)

### 1 ねらい

- ・新生宮崎小学校の一員として、自覚と関心を持つことができる。
- ・宮崎小学区に関わる人、もの、事柄を追究し発表することができる。
- ・宮崎小学区の伝統や文化を知り、学区に愛着を持つことができる。

### 2 実践の概要

#### (1) 課題を見つける

今年度3校(千万町小学校・大雨河小学校・宮崎小学校)が統合し、学区が広がった。不安と期待を持ちながら学校生活が始まった。また、自分の住んでいる地域以外については、ほとんど知らない状態であった。そこで、総合的な学習でそれぞれの地域や各学校の伝統や文化を調べることによって、互いの地域の良さを知ることができると考えた。新生宮崎小学区の良さを知り、自分たちから多くの人に学区の良さを発信していくことは大事だと考えた。また発表の場を設定することで、学区の良さについて理解を深め、3校の伝統や良さを引き継ぐことができると考えた。

#### (2) 課題の追究

##### ① 今年の宮崎をどげんかせんといかんイベントの計画

過去5回までのイベントは五平もち販売とバードクイズラリーなどを工夫して行ってきた。今回で6回目となる宮崎をどげんかせんといかんイベントは、今までの学区を元気にしたいという思いと、3校統合記念として3校の良さを紹介したいという思いから、3校の特色を生かしたイベントにしようと考えた。千万町地区の児童は、昔の特産物である手作りこんにゃくの販売、学芸会で好評であった子ども落語の発表、大雨河地区の児童は、3年間取り組んできた抹茶を使っのまごころ隊活動(まごころ隊は、雰囲気高めるために琴も習っていたので、イベントで演奏)、宮崎地区の児童は、愛鳥活動の発表と五平もち販売をしたいと考えた。今年度宮崎小学校は、全国野生生物保護実績発表大会に出場したので、野鳥クイズと共にその発表もしたいと考えた。

##### ② たくさん良いところを紹介したいな



<表>



<裏>

自分の住んでいる地域に関わる良いところ探しを行った。それぞれの地域の人・もの・事柄について黒板に書き出して見ると、意外にたくさん出てきた。そこで、イベントに来た人たちに、パンフレットを作って新宮崎小学区の良い所をたくさん紹介しようという願いを持った。各地区毎に八つの良さを紹介することにした。千万町地区の児童は1人しかいないが、昨年度総合的な学習で「ふるさとお宝かるた」を作成し、地区の良さを46個調べてあった。その中から、紹介したいベスト8を選んだ。大雨河地区の4人は、自分たちの地域のことについてはよく知らなかったが、地域の先生から教えてもらったことを参考に八つの紹介をまとめることができた。宮崎地区の児童は7人で、一人一つ程度の紹介を担当しまとめた。パ

ンフレットには、紹介したい内容や作成者の顔をイラストで表現したり、写真と解説を添えたりして内容を分かりやすく紹介する工夫をした。更に3年生が地域の学習として、手作りこんにやくを担当し、2年生は生活科で鳥の学習を深めていたので、今回のイベントでその成果を掲示したり、野外ステージで行われた鳥クイズに参加したりして、会場を盛り上げることとなった。子ども達はポスターを作り、12か所に掲示した。



### ③ どげんかイベント大成功

当日の11月21日(日)は、岡崎市観光協会主催のもみじ祭り期間中でもあった。そこで観光協会とタイアップしてイベントを行い、発表の場を設定した。宮崎小学区にあるくらがり溪谷は、岡崎市でも有名な観光名所のため、たくさんのお客様の前でイベントを賑やかに行うことができた。



五平もち300本作り



ゆずみそ五平もち販売



愛鳥発表



鳥クイズ



子ども落語「たぬきの入学式」



琴の演奏



お点前



鳥クイズいろいろ

- ・目標が達成できたと思う。お年寄りもいたけれど、若い人や子どももいた。1日だけだったけれど、宮崎がこのイベントで元気になった気がして良かったです。ぼくが大人になった時、人数が少なくても宮崎が元気になっていればいいなと思う。
  - ・一つのイベントをするにも、とてもたくさんの人にお世話になったり、支えてもらったりした。手伝ってもらわないとできない事もあったし、準備をとってほしいといけないうことが分かった。
  - ・イベントのために手伝ってくれた人に感謝しないといけないし、物を売ることは大変なことだと分かった。
- <子どもの日記から>

子どもたちはたくさんの人達と関わり、協力していただいたり支えていただいたりしたことに気づくことができた。収益金は、すべてお世話になった人たちへのお礼とし、感謝の気持ちを伝えることにした。子ども達と先生達に対しては、全校で「どげんかイベントお祝い会」をクリスマス会食と併せて行った。イベントの思い出をまとめた掲示物を作り、収益金の一部を使いクリスマスプレゼントを用意して、どげんかビンゴゲームを楽しんだ。また地域の先生たちには、2月9日(水)に、感謝の会を行う計画を立てている。

### 3 実践を振り返って

3校が統合し、不安と期待が入り交じった子ども達であったが、イベントに向けて協力し合うことができた。パンフレット作りを通して学区の知識を深め、多くの人にその良さを発信することができた。新生宮崎小学校区の一員として意識を高めることができた。

